



ノアの爽かぜ風



おやつ
バイキング

たくさん食べてね～(*'▽')

もう待ちきれず...

黙々とおやつが進んでいますね(#^_^#)
食べる時はみな静かです

今回も美味しかったね～(*'ω`)
ごちそうさまでした(#^_^#)

ん～! ちよつと一息ですね

～目次～

- 病院短信『認知症と緩和ケアについて』 黒川 胤臣
- 作業療法科だより 寺崎 竜也
- 看護日誌 松浦 恭子
- 日常の一コマ 清水 直美

12月の予定

- ◆ 誕生日会 各病棟にて
 - 1病棟: 13日(水) 14:30～
 - 2病棟: 14日(木) 14:30～
 - 3病棟: 8日(金) 14:30～
- ◆ キャンドルサービス
12月25日(月) 14:30～



ねえ、かくれんぼしませんか?

もういいかい?

もう、いいよ(´▽`)

ナナのかくれんぼ (*'▽'*)

ナナちゃん! 詰めが甘いな～(*_*)

お尻隠してしっぽ隠さず!

えへっ(*'ω`)

1. いいよ、じゃ～数えるから隠れて

2. もういいかい? ま～ただよ(´▽`)

3. ナナ、見～つけた (*'▽`)
しっぽ出てるよ

4. えっ(*_*)

『認知症と緩和ケアについて』

当院は認知症専門の施設ですが、高齢者がほとんどなので、老化現象を含めて各種身体的合併症も多いのです。しかし、手術を含めて、先進的・高度な積極的医療は困難なので、保存的治療としての緩和ケアは、当院で出来る限り施行して、患者さんやご家族には理解してもらおうように努めています。

最近、アメリカと日本の製薬会社の共同開発による、新しい認知症治療薬が話題になっています。日本では、保険診療で認められた新薬として、認知症治療には今後大いに期待されています。

認知症の症状は、軽症から重症まで多彩な例が多いのですが、身体的老化現象や、入院後に各種癌性疾患などの再発や合併する場合もあり、重症度に応じて、緩和ケアする時にも難渋するので治療は困難です。

所属している老人病研究会では、2010年から認知症に特化した三焦鍼法を中心として利用する、認知症認定鍼灸師の育成を試みております。2023年10月までに全国には学生を含めて263名の受講者がいます。三焦鍼法の作用機序は未だ検討中ですが、大脳辺縁系に何らかの良い影響を与えている可能性が推察されており、症状の緩和や進行を遅らせているとみなされる例の報告が増えています。三焦鍼法だけでなく、頭鍼療法も併用すると、パーキンソン症候群などでも、リハビリテーションの

補助として、歩行機能やADLの改善など、経穴経絡治療は症状の緩和にも有用性がみられる例を経験しています。しかし、経穴経絡治療は保険外診療なので当院では原則として対応はできないのですが、外部では患者さんや家族からも大変喜ばれています。

以前のノア新聞にも掲載しましたが、COVID-19の後遺症対策でも、経穴経絡治療を応用してブレインフォグや味覚・嗅覚障害、倦怠感の改善に効果的だった外部の症例も報告しましたが、三焦鍼法も同様にCOVID-19のブレインフォグなどの治療に有効が多いのです。

東洋医学は、未だに古典的医療とか、非科学的医療などと思われていますが、現代医療の補助として併用することで、自己修復力が引き出される可能性を実感しています。

さらに、経穴経絡治療の即効性は各種難病の症状や、末期癌の癌性疼痛コントロール・癌治療などの副作用対策、有事や災害・救急医療でも、緩和ケアの補助的方法として、鎮痛やQOL・ADLの改善が得られることも多いのです。利便性・安全性も高く効果的なので、臨床上幅広く利用されることが期待されます。



さつまいも堀り風景(*^。^*)

1病棟 介護主任 清水 直美

日常のーコマ



今月は寛子さん（93歳）のーコマです。寛さんは東京都で6人兄弟の3番目として生まれ、女子美術大学を卒業後は雑誌の編集者として50歳過ぎまで働いていました。ずっと独身で過ごされ、その後はお両親の面倒を見たりしていたそうです。61歳の頃、お両親が他界されて少しずつ時間が取れるようになり、ご自宅の敷地内にあるアパートの管理をしたり、趣味の洋裁や旅行に行くなど有意義に過ごしていらっしゃいました。

82歳の頃から物忘れがひどくなったと、敷地内の別棟に住む妹さんに話すようになり、88歳頃から排泄や入浴、自宅の管理が出来ず、異臭がするようになり自ら地域包括支援センターに駆け込み、ケアマネージャーが訪問すると、家の中はゴミが散乱していたとのことでした。91歳頃から幻視・幻聴も頻回になり、訪問診療を開始するも拒否が多く在宅生活は困難となり、都内の精神科病院に入院されました。そこでも難聴もあり意思疎通困難で介護抵抗もあり、当院を紹介され令和3年に当院入院となりました。

入院当初は環境の変化のせいか不眠になり、夜はよく眠れるようお茶を出したり、スタッフと話をするなどして徐々に環境にも慣れ眠れるようになりました。最近は朝までぐっすりです。

また、幻視・幻聴がある時もあります。スタッフによく話しかけ、納得すると「ありがとう」と言ってくれます。若い頃雑誌の編集者として働いていたためか性格もハッキリしていて、気分が乗らない時は「イヤ」と拒否する一面もあります。93歳と高齢ですが、食事は自力で毎食完食されて、とても元気です。これからも元気でいられるよう、支えていきたいと思ひます。

作業療法科だより 作業療法科 寺崎 竜也



四季折々の景色が楽しめる院庭に今年も立派な柿の実がなり、また園芸ではサツマイモの収穫の時期がやってきました。そこで「芸術の秋」ということで、秋の食材をモチーフにして絵画を行いました。皆さまの思い思いの作品が、徐々に表れていきます。時々談笑しながら、作業は滞りなく進み、遂に素晴らしい作品が完成しました。そして、最後に「食欲の秋」として、食材を美味しくいただきました。

これからも皆様に四季を感じるような、楽しいイベントを提供していきたいと思ひます。



看護日誌

2病棟 看護師 松浦 恭子

今年もう年末が来てしまいました。コロナが明けて大勢の人が出かけ始めました。今までコロナ感染を恐れ、消毒を心がけてきました。結果、私達の抵抗力は弱まってしまいました。世間の消毒が少しずつ減り、私達の抵抗力の回復が追い付かず、感染症にかかるが増えてきました。今年は夏前ごろからインフルエンザが発生していました。その他感染症も…

体力を回復するには、温かいお風呂に入り、朝・昼・夕のきちんとした食事、規則正しい生活を心がけ、体力を回復し12月を乗り切って元気に新年を迎えましょう。